

令和6年度 年金積立金の運用状況

1 運用収益額と運用利回り

(単位:億円)

	令和6年度			(参考) 令和5年度		
	厚生年金保険 (旧1・2階)	経過的長期 (旧3階)	退職等年金 (新3階)	厚生年金保険 (旧1・2階)	経過的長期 (旧3階)	退職等年金 (新3階)
運用資産額	2,886	1,634	1,166	2,987	1,876	1,036
実現収益額	184	193	6	137	159	4
実現収益率	8.26%	14.51%	0.54%	6.52%	11.26%	0.44%
総合収益額	37	28	—	535	372	—
修正総合収益率	1.28%	1.56%	—	22.58%	22.00%	—

(注)・実現収益率は、売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本(簿価)平均残高で除した簿価ベースの収益率である。
・総合収益額は、実現収益額に各期末時点での時価に基づく評価損益を加味したものである。
・修正総合収益率は、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標である。

2 運用資産の構成割合(令和7年3月31日現在)

(単位:億円)

	厚生年金保険 (旧1・2階)		経過的長期 (旧3階)		退職等年金 (新3階)	
国内債券	643	(22.3%)	368	(22.5%)	1,166	(100.0%)
うち短期資産	437	(15.2%)	15	(0.9%)	12	(1.0%)
国内株式	745	(25.8%)	438	(26.8%)	0	(0.0%)
外国債券	739	(25.6%)	430	(26.3%)	0	(0.0%)
外国株式	759	(26.3%)	398	(24.3%)	0	(0.0%)
合計	2,886	(100.0%)	1,634	(100.0%)	1,166	(100.0%)

(注)・厚生年金保険および経過的長期は時価ベース、退職等年金は簿価ベースである。
・令和2年4月から、年金給付支払資産(短期資産)は国内債券に含めて管理している。
・上記数字は四捨五入のため、各数字の合算と合計数字は一致しないことがある。

参考 基本ポートフォリオ(令和2年3月31日策定)

	構成割合	許容乖離幅	
国内債券	25%	±20%	(5～45%)
国内株式	25%	±12%	(13～37%)
外国債券	25%	±9%	(16～34%)
外国株式	25%	±11%	(14～36%)

(注)・退職等年金(新3階)の基本ポートフォリオは国内債券100%である。